

科目名		HIP HOP7							年度	2025
英語科目名									学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習	
担当教員	TAMIYA/YWKI/ACHI			教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー	
【科目の目的】										
この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作る。 また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。										
【科目の概要】										
この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作る。 また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。										
【到達目標】										
この科目ではHIP HOPの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解します。										
【授業の注意点】										
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1					
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力					
到達目標 A	受講態度も良くHIPHOPの基礎的なステップを理解、習得している。	受講態度も良くHIPHOPの基礎的なステップをやや理解、習得している。	HIPHOPの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	HIPHOPの基礎的なステップの理解、習得度が低い。	受講態度も悪くHIPHOPの基礎的なステップの理解、習得ができていない。					
到達目標 B	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。					
到達目標 C	受講態度も良く振付を時間内に習得し自分のものにする事ができる。	受講態度も良く振付を時間内に習得できるが、個性を出せない場合がある。	受講態度も良く振付を時間内に習得できるが、個性を出せない。	振付を時間内に習得する事はできる。	受講態度も悪く振付を時間内に習得する事ができない。					
到達目標 D	受講態度も良くクリアな踊り、個性を出す踊り共に身につけている	受講態度も良くクリアな踊りは出来るが、個性を出す踊りも多少できる。	受講態度も良くクリアな踊りは出来る	クリアな踊りに不安があり、個性が強い踊りになる	クリアな踊り、個性を出す踊り共に出来ない。					
到達目標 E	受講態度も良く音楽に合わせて何通りもフリースタイルで踊る事が出来る	受講態度も良く音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	短い時間であればフリースタイルを踊れる	フリースタイルで踊る事が出来ない					
【教科書】										

適時レジュメ・資料を配布する								
【参考資料】								
【成績の評価方法・評価基準】								
成果発表		50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する					
平常点		50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する					
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。								
科目名		HIP HOP7				年度	2025	
英語表記						学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	講師A 応用1	歌詞への理解度	1	英語楽曲	歌詞・振付の意味を理解して踊る			
			2	日本語楽曲	歌詞・振付の意味を理解して踊る			
			3	歌詞理解度	歌詞を理解し感情をこめて踊る			
2	講師A 応用2	規定振付への理解と個性	1	規定振付	楽曲・振付への理解を深め既定の振付を習得			
			2	オリジナリティ	規定振付に続くオリジナルの振付を考える			
			3	発表	規定振付+オリジナルの振付を発表			
3	講師A 応用3	構成	1	グループ編成	規定振付をグループで踊る			
			2	少人数構成	規定振付へ構成を付けてグループで踊る			
			3	発表	規定振付+少人数グループ構成で発表			
4	講師B 応用1	踊りきる体力	1	規定振付	体幹・体力の消耗度が高い規定振付を覚える			
			2	反復練習1	規定振付を全体で反復練習、体力強化をはかる			
			3	反復練習2	規定振付を少人数で反復練習、精神力強化			
5	講師B 応用2	踊りきる集中力	1	規定振付	運動量が多く長い振付を覚える			
			2	オリジナリティ	規定振付に続くオリジナルの振付を考える			
			3	発表	規定振付+オリジナルの振付を5名ずつ発表			
6	講師B 応用3	踊りきるメンタル強化	1	規定振付	制限時間内に運動量が多く長い振付を覚える			
			2	オリジナリティ	規定振付に続くオリジナルの振付を考える			
			3	発表	オーディション形式で振り覚えをチェックする			
7	講師C 応用1	早いテンポのリズムキープ	1	規定振付	テンポの速い楽曲で正確なリズムキープを習得			
			2	反復練習1	リズムキープの正確性を向上させる			
			3	反復練習2	振付の正確性を向上させる			
8	講師C 応用2	オリジナリティ	1	規定振付	テンポの速い楽曲で正確なリズムキープを習得			
			2	オリジナリティ	リズムキープを重視したフリースタイルを習得			
			3	発表	規定振付からオリジナル振付を踊り続ける			
9	講師C 応用3	構成	1	規定振付	制限時間内に既定の振付を習得する			
			2	オリジナル+構成	規定振付+オリジナル振付に構成を付ける			
			3	発表	グループごとに発表			
10	卒業公演 振付1	テーマ理解	1	作品テーマ	振付師が表現する作品テーマへの理解を深める			
			2	楽曲	使用する楽曲への理解を深める			
			3	表現内容	振付イメージ等表現内容を理解する			
11	卒業公演 振付2	ユニゾン	1	振り落とし	ユニゾンパートの振付を習得する			
			2	反復練習	反復練習を行い全員が振付を習得する			
			3	確認	振付師イメージを落としこみをおこなう			
12	卒業公演 振付3	立ち位置・構成	1	レベルチェック1	ユニゾン振付を全体で発表			
			2	レベルチェック2	ユニゾン振付を少人数で発表			

			3 立ち位置・構成	レベルチェックを基に立ち位置・構成を決定		
13	卒業公演 振付4	少人数・ソロ パート	1 振り落とし	少人数・ソロパートの振付を習得する		
			2 オーディション	振付師の指示に従いオーディションを行う		
			3 出演者確定	少人数やソロパート出演者を確定する		
14	卒業公演 振付5	全体構成	1 全体構成	全体の流れ・立ち位置を確認、習得する		
			2 反復練習1	反復練習を行い全員が振付を習得する		
			3 反復練習2	反復練習を行い全員が振付・構成を習得する		
15	レベルチェック	レベルチェック	1 ユニゾン	ニュアンス・振付の正確性を確認		
			2 パート	ニュアンス・振付の正確性を確認		
			3 構成	ニュアンス・振付の正確性を確認		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						